



おうみはちまん

議会だより

2023
(令和5年)

第56号

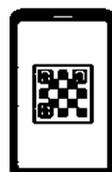
9月1日発行



新たな22人体制のもとスタート！
(近江八幡市議会5月臨時会)

今号の主な内容

- 2～3 ◆特集 常任委員会の構成と役割
- 4 ◆5月臨時会の概要・正副議長就任挨拶
- 5 ◆委員会名簿
- 6～16 ◆6月定例会の概要・個人質問
- 16～18 ◆常任委員会審査報告・
令和4年度政務活動費収支報告書
- 19 ◆政治倫理研修・議員紹介・編集後記
- 20 ◆提出議案と議決結果一覧・お知らせ



二次元バーコード（個人質問ページ）で本会議での質問の様子をご覧ください

～新しい常任委員会の構成～

《教育厚生常任委員会》

▶閉会中の継続審査（調査）に付する所管事務調査項目

委員会	所管事務調査項目
教育厚生常任委員会	1. 学校・園の運営および教育施策に関することについて 2. 福祉、健康、子ども・若者、子育て支援施策に関することについて 3. 国民スポーツ大会および全国障害者スポーツ大会に関することについて

委員長から一言

私たちの委員会は、健康、子ども・若者、子育て施策に関すること、教育施策に関すること、障がい児者・高齢者福祉施策に関することを審査しています。ゆりかごから墓場まで、近江八幡市民すべての年代に関わる施策を審査しております。『自覚者が責任者』として委員全員が全力で取り組んでおりますので、市民の皆さまぜひ、機会がありましたら生の委員会を見に来てください！



委員長 道下直樹 副委員長 藤村健造 委員 青木勝治 委員 山本妙子 委員 森原陽子 委員 小川広司 委員 山本英夫

《産業建設常任委員会》

▶閉会中の継続審査（調査）に付する所管事務調査項目

委員会	所管事務調査項目
産業建設常任委員会	1. 「地域公共交通」の在り方について 2. 農業及び産業振興の取り組みについて 3. 防災及び危機管理について



委員長から一言

当委員会では所管事務調査事項として、①地域公共交通のあり方②農業及び産業振興③防災及び危機管理の3つを取り上げています。自動運転、空飛ぶ自動車、AIや人工衛星を活用した農業、防災など、産業建設分野では夢のある技術が日進月歩で開発されています。地に足のついた実効性のある施策の調査が大事であるのはもちろんですが、先進的な事例に関してもアンテナを張っていければと考えています。



委員長 南祐輔 副委員長 間宮泰樹 委員 福永義洋 委員 山元聡子 委員 大川恒彦 委員 竹尾耕児 委員 辻正隆

常任委員会の構成と役割

【常任委員会】

常任委員会は市の組織ごとに所管する内容を定めており、本会議で付託された議案や請願などについて詳細に審査を行い、その審査結果を本会議に報告することで、全体の審議の能率化を図っています。

近江八幡市議会に設置されている常任委員会の定数及び所管は次のとおりです。

常任委員会の定数及び所管

常任委員会名	定数	所 管
総務常任委員会	7人	<ul style="list-style-type: none"> ● 総合政策部の所管に属する事項 ● 総務部の所管に属する事項。 ● 安土町総合支所の所管に属する事項 ● 会計管理者の所管に属する事項 ● 議会、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会及び固定資産評価審査委員会の所管に属する事項 ● 総合医療センターの所管に属する事項 ● 他の常任委員会の所管に属さない事項
教育厚生常任委員会	7人	<ul style="list-style-type: none"> ● 福祉保険部の所管に属する事項 ● 子ども健康部の所管に属する事項 ● 教育委員会の所管に属する事項
産業建設常任委員会	7人	<ul style="list-style-type: none"> ● 市長直轄組織のうち危機管理課の所管に属する事項 ● 市民部の所管に属する事項 ● 都市整備部の所管に属する事項 ● 産業経済部の所管に属する事項 ● 水道事業所の所管に属する事項 ● 農業委員会の所管に属する事項
予算常任委員会	22人	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般会計予算に関する事項

《総務常任委員会》

▶閉会中の継続審査（調査）に付する所管事務調査項目

委員会	所管事務調査項目
総務常任委員会	地域コミュニティの現状と課題について



委員長から一言

“総務”常任委員会という、何をやるのか想像できないと言われる方も多いかと思いますが、市税に関すること、総合医療センターに関すること、公共施設の管理に関すること、自治会や各学区のまちづくり協議会に関することなど、市民の皆さんにとって身近なことも扱っています。今年度は、自治会など、市民の皆さんの地域でのつながりについて調査研究を行ってまいりますのでご注目ください。



委員長
沖 茂 樹



副委員長
三 上 英 夫



委員
久 郷 定 彦



委員
中 塚 理 恵



委員
松 村 務



委員
玉 木 弘 子



委員
小 西 は げ む

5月臨時会の概要

令和5年第1回（5月）市議会臨時会を5月18日に開きました。

開会后、当局から専決処分承認議案3件のほか、予算関連議案1件、固定資産評価員および副市長の選任同意に係る人事案件2件の計6件が上程され、このうち、専決処分の2件を含む予算関連議案3件は予算常任委員会に、専決処分のうち条例議案1件は総務常任委員会に議案が付託され、各常任委員会で審査を行いました。本会議再開後、各委員長から審査報告があり、採決の結果、全員賛成で、当局より提案された4議案を承認・可決し、2件の人事案件のうち1件を同意、副市長の選任同意に係る人事案件を不同意としました。

この臨時会では、議長選挙および副議長選挙を行い、第14代議長に岡田彦士議員を、副議長に辻正隆議員を選出しました。また、各常任委員や東近江行政組合議会議員の選任があり、各委員会で委員長、副委員長の選出の選挙を行いました。

その後、市長から追加議案として近江八幡市監査委員の選任議案が上程され、議員選出の監査委員として大川恒彦議員を選任同意しました。

*各委員会等の委員は5ページをご覧ください。

議長就任のご挨拶 岡田彦士



去る5月18日に開催されました第1回臨時会におきまして、市議会議長に就任をさせていただきます。岡田彦士でございます。

大変、身の引き締まる思いとともに、あらためて、その重責を感じておるところでございます。微力ではございますが、これまでの近江八幡市議会の歴史と伝統を踏まえながら、引き続き、円滑な議会運営に邁進させていただきたいと存じております。

さて、5月8日に、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の取り扱いが2類相当から5類に移行されました。このことにより、3年以上に及ぶコロナ禍は、正常化に向けて、大きな一歩を踏み出し、日常生活を取り戻しつつあります。しかしながら、依然として、社会経済活動は大変厳しい状況の中にあり、市民の皆様は、日々の暮らしに大きな不安を抱えながら生活されていると存じます。

コロナ禍や物価高騰などで傷ついた地域経済の早期の回復を図り、本市の持続的な成長を実現していかなければなりません。市議会といたしましても、市民の皆様が安心して暮らしていただけるよう全力を尽くしてまいります。

また加えて、頻発する大規模地震や気候変動による水害や土砂災害などへの備えや人口減少・少子高齢化による地域力の低下など、市政

をとりまく様々な課題が山積みしており、スピード感をもって取り組んでいかなければなりません。

このような状況の中、市民の代表としての意思決定機関であります地方議会が果たすべき役割と責任は、今後ますます重要になってまいります。

議長の職を預からせていただく以上、近江八幡市議会基本条例の趣旨のもと、公平・公正かつ円滑な議会運営に努め、市民福祉の向上と市政発展のために、誠心誠意、市民の皆様の期待と信頼に応えていく所存でございます。

今後とも、皆様方の格別のご指導とご理解ご協力をお願い申し上げ、就任あいさつとさせていただきます。

副議長就任のご挨拶 辻正隆



この度、市議会副議長に就任させていただきます。した辻正隆でございます。

今後は、議長の補佐役として、副議長の職務を遂行するとともに市政の推進と議会の公正かつ円滑な運営に努めてまいります。

引き続きまして、二元代表制の一翼を担う議会として、監視機能や政策立案機能などの向上に努め、主権者である市民に身近で、開かれた議会を目指してまいりますので、市民の皆さま方の温かいご指導、ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

市議会に設置されている各委員会の委員と
一部事務組合議会の議員の構成は以下のとおりです。

職名及び委員会名等	氏名（ ◎：委員長 ○：副委員長 ）
議 長	岡 田 彦 士
副 議 長	辻 正 隆
監査委員	大 川 恒 彦
議会運営委員会 委員	◎小西はげむ ○中塚 理恵 松村 務 三上 英夫 沖 茂樹 森原 陽子
予算常任委員会 委員	◎山本 妙子 ○久郷 定彦 ※委員は全議員（委員長・副委員長のみ記載）
総務常任委員会 委員	◎沖 茂樹 ○三上 英夫 久郷 定彦 中塚 理恵 松村 務 玉木 弘子 小西はげむ
教育厚生常任委員会 委員	◎道下 直樹 ○藤村 健造 青木 勝治 山本 妙子 森原 陽子 小川 広司 山本 英夫
産業建設常任委員会 委員	◎南 祐輔 ○間宮 泰樹 福永 義洋 山元 聡子 大川 恒彦 竹尾 耕児 辻 正隆
市庁舎整備等 特別委員会委員	◎小川 広司 ○松村 務 間宮 泰樹 久郷 定彦 中塚 理恵 三上 英夫 道下 直樹 山元 聡子 大川 恒彦 森原 陽子 竹尾 耕児
東近江行政組合 議会議員	間宮 泰樹 久郷 定彦 青木 勝治 沖 茂樹 小西はげむ

6月定例会の概要

令和5年第2回（6月）市議会定例会を6月16日から7月13日までの28日間の会期で開きました。

6月16日の開会日には、諸般の報告として、議長報告のほか、監査委員報告および市長報告の後、市長提出議案として「令和5年度近江八幡市一般会計補正予算（第3号）」の予算関連議案1件、条例議案5件の合計6議案が上程されました。また、議員提出議案として、「近江八幡市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定」が上程され、採決を行い全員賛成で可決しました。

その後、議案熟読の期間を経て再開された7月3日には、市長提出議案として、「令和5年度近江八幡市一般会計補正予算（第4号）」の予算関連議案1件、その他議案1件、議員提出議案として、意見書2件が上程されました。同日7月3日から5日まで個人質問を行い、19名の議員が議案質疑や市政全般に対する質問を行いました。

また、5日には、市庁舎整備等特別委員会の設置および同委員の選任について決しました。

上程された議案および意見書は、予算・総務・教育厚生・産業建設の各常任委員会に付託され、後日開催した各常任委員会で当局から議案に対する詳細な説明を求め審査を行いました。

13日の閉会日には、総務、教育厚生および産業建設の各常任委員長から閉会中の所管事務調査について継続審査を行いたい旨の申し出があり、この申し出のとおり決しました。

その後、各常任委員会の審査報告の後、「令和5年度近江八幡市一般会計補正予算（第3号）」に対する修正案が森原議員ほか1名から提出され、討論、採決を行った結果、修正案は否決され、原案が可決されました。したがって本定例会に当局から提案された議案については、全ての議案を可決しました。

なお、議員提出議案の意見書2件については、賛成少数で否決しました。

また同日、追加議案として、市長提出議案の教育委員会委員の任命に係る人事議案1件が上程され、採決の結果、全員賛成で同意しました。

【 6 月 定 例 会 の 詳 細 日 程 】

6月

- 16日（開会）
 - ・ 諸般の報告
議長報告、監査報告、市長報告
 - ・ 議案の上程（提案理由説明）
議第71号～76号
会第8号
 - ・ 質疑、討論、採決（会第8号）

7月

- 3日
 - ・ 議案の上程（提案理由説明）
議第77号～78号
会第9号～10号
 - ・ 個人質問
- 4日
 - ・ 個人質問

- 5日
 - ・ 個人質問
 - ・ 質疑（3日に上程の議案）
 - ・ 市庁舎整備等特別委員会の設置
および同委員の選任、委員会付託
- 6日
 - ・ 予算常任委員会
- 7日
 - ・ 総務常任委員会
- 10日
 - ・ 教育厚生常任委員会
- 11日
 - ・ 産業建設常任委員会
- 13日（閉会）
 - ・ 諸般の報告
（市庁舎整備等特別委員会の正副
委員長の互選結果）
 - ・ 委員会の閉会中の継続審査
 - ・ 委員会審査報告
 - ・ 討論・採決（議第71号～78号
、会第9号～10号）
 - ・ 議案の上程（提案理由説明）
議第79号
 - ・ 質疑・討論・採決（議第79号）

個人質問



公明党

デジタル推進委員
配置拡大について

中塚理恵



問 政府はデジタル機器に苦手意識があったり、十分に利用できない高齢者や障がい者らを対象にスマートフォン等の使い方やマイナンバーカードの申請といったオンライン行政手続きなど、丁寧に教えたり、利用のサポートを行う「デジタル推進委員」の取り組みをスタートしました。

本市におきましても行政サービスのデジタル化を進める中で、情報格差の解消のため体験型スマホ教室を開催していたださっています。

そこで、昨年度のスマホ教室の実績と、その講師、又その他の効果的な新たな取り組みをお教えください。

答 総合政策部理事

本市では行政サービスのデジタル化を進めており、※デジタル・ディバイドの解消は、利便性向上の重要な課題と認識しています。この課題解消に向け、

- 「その他の質疑・質問」
- ① 帯状疱疹予防接種費用助成金拡充について
 - ② 子ども読書活動推進について



※デジタル・ディバイドとは、「インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者の間に生じる格差」のことをいう。

スマホ体験型教室に令和3年度から取り組み、昨年度は12月と2月に開催し、参加者はそれぞれ137名と127名でした。参加者に対する満足度調査では94%以上の方から高評価をいただきました。講師は、受託業者の派遣とし、デジタル推進委員の活用は行っていません。今年度はスマホ教室を7月と10月に開催するとともに、要望が多かったiPhone版の教室と悩み事を気軽に相談できるスマホ相談室を新たに開催します。

個人質問



創政会

北里学区の
諸課題対応について

大川恒彦



問 北里学区の諸課題対応の内、道路整備について伺います。① 国道477号の地元要望における対応について、対処はどのようにされていますか。② 県道2号の江頭町と十王町の字境における歩道設置にかかる水道管移設について、移設および移設完了後の工事予定などは、どのようになっていますか。③ 中部湖東幹線の現在の進捗状況と今後の事業予定における現況説明および促進協議は、どのようになっていますか。

答 ①③都市整備部長、②水道事業所長

① 国道477号の地元要望については、県に対し実現に向けて強く働きかけを行っています。② 水道管移設については、今年度、設計業務を実施し、令和6年度に工事を完了させる予定です。③ 昨年度、牧町地先付近において地形測量が実施されました。

- 「その他の質疑・質問」
- ① 地域の活性化について
 - ② 当市の観光振興について
 - ③ 防災の組織体制について
 - ④ 選挙投票率の向上について



【県道2号】

滋賀県道路整備アクションプログラム2023において、野村工区と水荃・大房工区の2工区に分割され、野村工区が前期着手、水荃・大房工区が着手時期検討事業に変更となりました。今年度、野村工区において道路設計に着手、水荃・大房工区は、引き続き地元協議をされる予定です。

個人質問



創政会

小西はげむ

市営住宅について



問 公営住宅制度は、国および地方公共団体が協力して健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備し、その区域内の住宅事情にも留意し低額所得者の住宅不足を緩和するため必要があると認めるときは公営住宅の供給を行わなければならないと謳われていきます。そこで、市営住宅数と空き室数、そのうち使用できる空き室数また入居者募集の状況は、どのようになっていますか？お教えいただきたいと思えます。

答 都市整備部長

令和5年5月末現在の市営住宅のうち、公営住宅は21団地、576戸、改良住宅は12団地、446戸の合計1,022戸です。その内、空き室、空き家は、公営住宅120戸、改良住宅52戸の合計172戸となっております。空き室、空き家は、改修・清掃のうえ、新たに入居者を募集しますが、改修等を終えた使

用可能な空き室、空き家は、現在公営住宅で6戸となっております。募集状況は、昨年12月に改良住宅で計3戸の募集を行いました。公営住宅、改良住宅ともに、今後も計画的な募集を行ってまいります。



「その他の質疑・質問」

- ① 一般廃棄物（ごみ）処理について
- ② 市内スポーツ施設の使用料見直しと稼働状況について

個人質問



創政会

南 祐輔

河川整備について



問 河川整備について大きく2点お尋ねします。
① 日野川の河川整備について、現在の進捗状況、今年度の整備計画、来年度以降の整備計画はどうなっていますか。また今年度、東近江圏域の河川整備計画の変更が予定されていますが、その概要についてもお聞かせください。
② 日野川と白鳥川の竹木の伐採について、伐採の進め方はどのような基準でなされているのでしょうか。また過去の伐採状況、本年度の伐採予定の箇所についてもお示しくください。

答 都市整備部長

① 今年度は、桐原橋上流の低水護岸工事等に着手され、JR橋梁架替工事は令和13年度の完成を予定されています。また墓地移転は、事業認定や用地買収等を進める予定です。変更後の河川整備計画は、上畑町までの7.5 kmが整備実施区間として、

上畑町から佐久良川合流点までの6.2 kmが整備時期検討区間として位置付けされる予定です。
② 竹木の伐採等は、県で総合的に優先度を判断され、緊急浚渫推進事業債を活用し計画的に実施されています。今年度、日野川は野洲市比留田地先、白鳥川は馬淵町地先で対応を予定されています。



「その他の質疑・質問」

- ① 防災行政無線個別受信機について
- ② 交通安全対策について

個人質問



チームはちまん

竹尾 耕児

生徒指導のあり方について

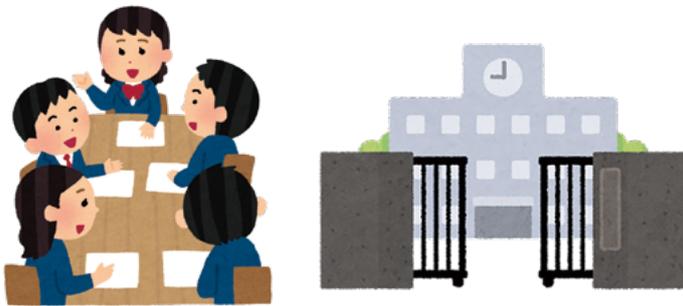


問 全国的にブラック校則という言葉が定着しました。行き過ぎた生徒指導や子どもたちの人権にかかわる事案等、大きな問題です。近江八幡市では各学校のHPなどで校則が確認できない状態となっています。公開するべきと考えます。また、公開するにあたって校則の見直しも必要と考えますが、教育委員会の考えをお聞かせください。

答 教育長

校則については、今ある校則が社会通念上合理的なものであるか、学校内外の関係者や地域住民の皆様に見ていただく必要もあると考えており、ホームページへの公開について検討します。校則の見直しについては、児童生徒や保護者との対話をもとに合意形成を図ること、見直しの機会を通じて校則を自分たちで守っていくこうとする主体的な態度を養うことが大切です。学校と生徒会が連携し保護者にも意

見を聞いた上で制服を見直した事例もあります。生徒や保護者の意見や生徒自身が参画する機会を設けて、見直しに取り組むよう学校に指導するとともに、教育委員会として学校間調整に取り組みます。



個人質問



公明党

山本 妙子

誰一人取り残されない社会を！



問 デジタルを活用した私たちを取り巻く日常は、日進月歩です。視覚障がい者を支援する補助具として、網膜に直接映像を照射する技術により、目の悪い方でも映像がはっきり認識できる機器の開発が進んでいます。

この機器を「近江八幡市障害児者日常生活用具給付事業実施要綱」の対象項目に取り入れていただけないか、また学校をはじめ、図書館に備品として設置いただけないか、ご検討をお願いします。

答 福祉保険部長、教育長

本市では、重度障がい者等に対し日常生活上の便宜を図る支援用具等を給付する障害児者日常生活用具給付事業について、東近江圏域2市2町で共通の実施要綱により事業に取り組んでおり、議員お尋ねの機器についても情報・意思疎通支援用具として給付の対象とするため、2市2町で協議を進めてまいります。

視覚障がい者の補助具の一例(イメージ)



また、学校や図書館への備品としての設置については、施設ごとに必要性を検討しますが、まずは個人に対する給付について優先的に取り組んでまいります。

「その他の質疑・質問」
① 職員の離職と業務改善について

「その他の質疑・質問」
① 命を守る治水対策について

個人質問



創政会

子どもまんなか社会

実現に向けて

道下直樹



問 ①オムツ宅配便事業について導入の検討はどのようになっていますでしょうかお伺いします。

②「母子モ」は母子手帳アプリですが、近年全国的に広まりを見せています。アプリに登録すると予防接種や定期検診のお知らせ、定期検診の数値のグラフ化、地域の子育てイベントなどの情報がアプリ内で表示されます。また情報は家族間でも共有でき、外国語にも対応しています。当局のご所見および導入についてお伺いします。

答 子ども健康部長

オムツ宅配便事業は、定期的・継続的に乳児のおられるご家庭を訪問し、見守りや声掛けを実施することにより、子育ての不安の解消や孤立化を防止する、子育て支援施策として有効な事業であることから、次年度からの実施に向けて取り組みを進めています。

また、「母子モ」について、情報

の閲覧や共有にはスマートフォンが欠かせなくなっており、多くの自治体で母子保健アプリ等が導入されています。便利なアプリであると認識しており、今後導入している自治体への調査や、補助金の活用による財源の確保等、導入に向けて検討してまいります。



「その他の質疑・質問」

- ① 生成AIおよびWeb3.0について
- ② LGBT理解増進法について
- ③ 移住定住対策について

個人質問



政翔会

農道の日常の

維持管理について

小川広司



問 行政は農道の維持管理をこれまで各土地改良区の役割とされてきました。私は、道路面が割れていたり、荒れていた状態が自転車通学の子どもや高齢者なども心配しています。このような事故が起こってしまったとき、行政は関係ないと言い切れますか。農道は日常多くの市民等が使い生活道路ともなっています。また老朽化も進行しています。当局は農道の日常の維持管理についてどのようにお考えですか。

答 産業経済部長

農道の維持管理は、各土地改良区の所管ですので、各土地改良区で維持管理等をされていますが、道路の穴ぼこなど、道路の損傷の通報が市に入った場合や、日常業務において緊急を伴う損傷を発見した場合には、情報の共有を行い、応急処置を施すなどの対応を考えています。世代をつなぐ農村まるごと保全向上

対策事業は、市内の3組織に対し令和4年度は、約1億3千4百万円余りの補助金を交付し、地域の農道や水路等の補修等の活動を行っていただいておりますので、このような活動組織と連携していただきますよう、よろしくお願いいたします。



「その他の質疑・質問」

- ① 農道の利用と維持管理についてのうち農道の利用実態の把握について
- ② ICT教育について
- ・ タブレット端末導入によるGIGAスクール
- ・ Aスクールの現状について
- ・ ICT機器の効果的活用について

個人質問



日本共産党

森原陽子

市の介護政策について



問 要支援の段階でケアを受けられること、社会参加することが介護の重度化を防ぎ、遅らすと考えます。平成28年度と比べると、介護認定者数は167人増の3,307人、介護認定率は14・4%と減少しています。しかし、介護給付費は約10億円増えました。このことをどのようにとらえていますか。今回、要支援1・2のデイサービス利用について検証に至ったのは、どのような理由からですか。また、どのような方法で検証されますか。

答 福祉保険部理事

介護給付費の増加の要因として高齢者の増加に伴い、認定者数も増加しており、特に80歳代の新規申請が多く、認知症が増加していることから要介護1が多くなっています。また、要介護3以上では、施設介護サービス費も増加しており給付費増加の要因となっています。令和9

年度をピークに一定の推移で増加していくものと考えています。介護予防・日常生活支援総合事業へ移行後、通所型サービスでは十分対応できないケースがあるため、通所型サービスの在り方について検証します。検証にあたっては、関係者へのヒアリングや各種委員会等で協議します。



「その他の質疑・質問」

- ① 新しい危機管理体制について
- ② 青少年を性的グルーミングから守るために
- ③ 給食センター施工工事について
- ④ 西の湖環境学習の児童の学習資料について
- ⑤ 市の消費税インボイス制度の対策について
- ⑥ 交通安全対策について
- ⑦ 投票率の改善に向けて

個人質問



ひむれクラブ

山本英夫

自転車ヘルメットについて



問 改正道路交通法により、自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されました。自転車を運転するすべての人がヘルメットをかぶることに努めなければなりません。自転車事故で死亡した人の約7割が、頭部に致命傷を負ったものとされ、自転車乗車中の事故でヘルメットを無着用の場合の致死率は、着用している場合の約2.5倍高いとされています。当市としての取り組み姿勢、啓発・補助についての考え方はどうなのか、ご答弁をお願いします。

答 市民部長

警察庁の統計では自転車事故は頭部の負傷が致命傷となり亡くなる方が大半であり、自転車事故の多くは重大なルール違反が原因となっていることから、正しい交通ルールを守り、一人一人が自転車の安全利用を心掛けていくことが必要です。ヘルメット着用は命を守るうえで重

要であり、市として市民のヘルメット着用を促進するためにヘルメット補助事業の実施に向けて検討を進めます。また、啓発を市広報紙や市公式SNS等で周知を実施しているほか、警察や交通安全関係機関と連携し、市民の交通安全意識の向上につながる取組を進めます。



「その他の質疑・質問」

- ① 道路等の整備・改良について
- ② 要支援者等の名簿の扱いについて
- ③ 伝統的建造物群保存地区に対する考え方について

個人質問



創政会

藤村 健造

国スポ・障スポについて



問 2025年に第79回国民スポーツ大会と第24回全国障害者スポーツ大会が滋賀県で開催されます。現在の大会に向けての進捗状況についてお聞かせください。障スポでは聴覚障がい者のバレーボール競技選手・関係者、応援をする方々に対しての手話通訳者の協力依頼が必要となります。会場は当然バリアフリーにも対応され、車イス席も確保されているか、またこの大会が成功裏に閉会した後の国スポ・障スポをどの様に伝えていくのか考えをお聞きます。

答 教育部長

本市らしいおもてなしで感動いただける大会となるよう実行委員会を中心に具体的な運営計画やスタッフの配置計画の作成等に取り組んでいます。

障スポ大会は県が運営主体となり、手話通訳員を含めたボランティア募集も県が実施される予定です。本市においては身体

障がい（聴覚障がい）者のバレーボール競技が開催される予定です。大会会場では、車いす席を設置するなど、可能な限りバリアフリー化に努めて参ります。大会後もスポーツ推進計画に基づき、年齢、性別、障がいの有無にかかわらず、地域社会全体で生涯スポーツ社会の実現に向けて取り組んで参ります。



湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く 国スポ・障スポ 2025

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

「その他の質疑・質問」

①市少年スポーツクラブ（団）の支援について

②主要幹線道路の慢性渋滞について

個人質問



育政会

松村 務

心停止を救うAED装置の普及について



問 心停止で倒れられた方を、自治会館の屋外に備えられているAED装置を使って救命できた実体験から、普及に向けて次の3点についてお伺いします。
①AED使用による生存率、社会復帰率は。
②救急要請受けてから処置開始までの所要時間は。
③AED装置を普及させるにあたっての課題と行政の役割等。

答 危機管理監

①全国的な統計データによると、AEDによる措置が1分遅れるごとに救命率は10%下がり、AEDを使用した場合の1ヶ月後の社会復帰率はAEDを使用しなかった場合と比べて6倍以上となっています。

②総務省の調査では、救急車の平均到着時間は9.4分であり、早い段階でのAEDの使用は大変効果的です。

③本体だけでも35万円程度と高額であることが課題と考えてい



【自治会館玄関先のAED】

「その他の質疑・質問」

①市庁舎整備に関し、後悔しないために指摘

②誰もが屋外消火栓を使えるように

③地域コミュニティ再生と、担い手育成

個人質問



創政会

常の浜水辺公園

再整備について

間宮 泰樹



問 常の浜水辺公園は、滋賀県の土地改良事業として整備され約30年が経過し、木橋等の痛みが激しく改修が要望されているところですが、

都市公園や歴史公園として整備する必要がありとしながら再整備の結論に至っていない状況であり、大規模改修の方向性が検討されてきたのか、また緊急性の高い箇所から部分的に改修を実施していただけるのか、今後の方向性について伺います。

答 安土町総合支所長

公園の大規模改修につきましては、多額の事業費が必要であることから、国庫補助事業である都市公園や歴史公園として整備できないか検討を進めてきました。

現状では大変難しい状況ではありますが、全体的に老朽化が著しいことから、今後の公園整備の方向性をお示しできるよう

取り組んでまいります。

今般、現場を確認し、地元自治会と協議を行いました。緊急性が高いと判断される箇所や、地元では出来ない作業については市で対応し、公園の除草や清掃などの日常的な維持管理については引き続き地元で対応をお願いいたします。



「その他の質疑・質問」

①安土小学校について

②県道2号線バイパスについて

個人質問



日本共産党

地下道冠水に伴う事故検証

委員会の報告について

玉木 弘子



問 事故検証委員会の結果が市長に報告されました。

報告では、「これまで全国で起こっていなかったが、地下歩道の冠水で死者が発生しうる事実を突きつけた。」と現場を管理する県や市の認識の甘さを指摘しています。

市は、今回の検証委員会の報告をしっかりと受け止め、二度と死亡事故を繰り返さないための対策を行なうことが重要と考えます。

事故検証委員会の報告の要旨および今後の市がとるべき具体的なソフト・ハード対策について説明を求めます。

答 危機管理監

報告書では、災害事故防止を図るため、平常時から様々な災害に対するリスクや対策を常に意識し、市民の防災・減災への意識向上を図るとともに、ハード・ソフト両面での対策を講じることが求められています。

具体的なソフト対策として、大雨時の地下道の利用についての注意喚起の啓発、通行規制の基準と連絡体制の確立を進めます。ハード対策としては、地下道冠水センサー及び電光表示板、非常用階段、水路壁の嵩上げ修繕は実施済みであり、今後は、地下道への雨水流入防止対策を順次講じます。



「その他の質疑・質問」

①安土コミュニティエリア整備事業について

②公共施設のトイレについて

③議第74号近江八幡市学校給食に関する条例の一部を改正する条例の制定について

④国保料の引き下げと健康保険証交付の継続を

個人質問



創政会

小中学校における不登校の
現状と課題について

三上 英夫



問 文部科学省の調査によると、令和3年度の不登校児童生徒数が急増しました。

①本市の不登校児童生徒数について、小・中学校別および県・市別のデータを示してください。また、市教育委員会としての分析もお願いいたします。

②不登校の要因として「無気力・不安」が極めて高い%を示していますが、どのような状況の児童生徒に言及されていますか。また、具体例を挙げてください。また、当該児童生徒やその保護者に対し、どのような支援がなされていますか。

答 教育長

①「不登校」について、小学校で1.5%、中学校で5.5%であり、県よりそれぞれ0.2%、0.8%高い状況です。小学校高学年時や中学校一年時で大きく増加します。基本的な生活習慣の確立や校種間の滑らかな接続を重点施策として取り組んでいます。またス

クールソーシャルワーカーの増員等教育相談・支援体制の充実に努めています。

②友人関係に不安を感じ休みがちになった児童や、生活リズムの乱れがきっかけで登校意欲が低下し欠席が続く生徒等です。子どもを中心に据え、子どもを取り巻く環境の改善に努め、社会とのつながりを作るように支援しています。



「その他の質疑・質問」

①アフターコロナの学校教育の取組について

②通学路の安全確保について

個人質問



政翔会

北里学区一帯整備について

久郷 定彦



問 北里学区は田園広がる大きな農村地帯であり日野川下流域で琵琶湖にも面した自然あふれる所です。また日野川河川改修は順次されていますが、異常な降雨時には不安もあります。

こう言ったことから、これらの新しいまちづくりのモデルとして、これからも住み続けたいと思う地域の中心である形のコミュニティエリア農村型防災対応のグランドデザインを、市と地域の皆さんそして専門分野の方の意見をふまえ、構想したいと考えますが本市の対応をお答えください。

答 総合政策部長

北里学区でのコミュニティセンターや小学校等の施設については、他の学区と同じく、コミュニティエリア整備を基本的な方針として進めることを考えておりますが、今後、整備に関して候補地のことなど多くの課題が出てくるのが予想されます。

今後、学区において意見を集約し、北里学区のグランドデザインとしての方向性を定めていただくこととなりますが、専門的な分野へは、行政として意見や助言をさせていただきたいと考えています。これまでのやり方にとらわれることなく、学区と市との協働による取り組みを進めてまいります



「その他の質疑・質問」

①近江八幡市ふるさと応援寄付金（ふるさと納税）について

②近江八幡市職員採用について

③マイナンバーカードを取り巻く状況について

④市民活動後の整備について

個人質問



政翔会

文化振興について

沖 茂樹



問 国も県も市も文化振興というものに大きな労力と予算を注いでいますが、その理由は何なのか、さらに、文化振興がまちづくりに与える影響についてお答えください。

答 また、市民団体等が自主的に実施する文化活動や、近江八幡市の魅力を多方面に発信する文化事業などに対して交付する「まちづくり芸術振興事業補助金」が前年度に比べて大幅に増額されていますが狙いは何ですか。前年度の検証を踏まえてお答えください。

市長、総合政策部長

創造性は人間が持つ価値であり、産業の発展や地域の活性化には欠くことのできないものです。さらには、文化的価値はまちの魅力の大きな要素となっています。ことから、行政が積極的に文化芸術に触れる機会を創出することは非常に重要であると考えています。

また、まちづくり芸術振興事業補助金は、補助額が少なく、1度限りの支援となっていたため、文化振興、文化創造の成果に乏しいことが課題となっていました。今年度補助金制度の拡充を図ったことにより、市民が主体の文化芸術活動の活性化を期待しております。



【アートで広げる子どもの未来プロジェクト(芸術鑑賞プログラム)】

「その他の質疑・質問」

- ① 産業の育成支援について
- ② 選挙における投票者数増加のための対策について

個人質問



凜成会

新たな地域密着移動手段確保事業等について

山元 聡子



問 本市においても、高齢化の進展や一人暮らしをされている高齢者の方が増加しているなかで、高齢者等の移動手段の確保をどのように進めていくのかが課題となっています。現在は、公共交通機関を利用し、出かけている方であっても、今後さらに足腰が弱くなり、外出の機会が無くなってしまう高齢者の方が今後ますます増えていくのではないかと懸念しているところですが、そこで今年度「地域密着移動手段確保事業」として、交通弱者の交通手段の確保にむけた実証実験を進めるとして、当初予算において1000万円が計上されていますが、この事業の概要とこれまでの取り組み状況についてお聞かせください。

市長、市民部長

公共交通機関や市民バスの利用が困難となる、いわゆる交通弱者が増加傾向であり、従来の公共交通機関や市民バスに加え

た移動手段を確保することが課題であり、解消に向けて取り組んでいます。住民による地域の実情に応じた互助による移動手段制度を構築するため、小学校区を単位とする各学区まちづくり協議会等に順次実証実験にかかる趣旨や目的、運用方法等の説明及び協議を実施し、課題の把握と整理を行っています。制度内容について庁内関係課や関係団体と協議、調整のうえ、速やかに実証実験を実施し、その結果を踏まえ早期に制度構築を進めます。



「その他の質疑・質問」

- ① ヘルメット補助制度導入と安全対策について
- ② 環境整備の充実と人員確保について

個人質問



育政会

地域手当に係る

諸問題について

青木勝治



問 「地域手当」は、公務員に対して支給される手当の一つです。しかし、実は、多くの市民の皆さんと深く関わりのある保育や障がい福祉、介護保険分野の各サービス事業所の報酬の仕組みに、地域手当に準じた地域区分や支給割合等が国のルールとして反映されています。その結果、社会経済環境や生活実態に大きな差がない他自治体よりも本市の設定が実態以上に低くなっているため、諸問題が生じています。本市が置かれている状況についてお尋ねします。

答 総務部理事、福祉保険部理事、子ども健康部長

市職員の地域手当の取扱いは、本市が国家公務員の支給地でないことから支給していません。県内には、本市などの非支給地から10%支給地まであり、実情以上の自治体間格差が生じています。

介護、障がい分野の報酬は、公務員の地域手当に準拠して市町村ごとに地域区分が設定され

ており、本市は単価への上乗せ割合はありません。近隣の野洲市、東近江市の上乗せ割合は3%となっていることから、本市では民間における介護、障がい分野の人材確保に苦慮する状況となっています。

保育分野の人件費等の運営費の算定の基となる公定価格の地域区分についても公務員の地域手当を基本に定められており、格差是正を図るための補正ルールはありますが、本市には、適用されず「無支給の地域」となっています。

現在、国に制度の見直しを強く働きかけているところです。

「その他の質疑・質問」

- ①高齢者の生活課題の解決策について
- ・買物支援について
- ・健康寿命の延伸について
- ・出番と役割、QOLの向上について
- ・移動支援について
- ②少子化対策と子育て支援策について
- ・本市における少子化対策の検討と執行組織体制の在り方について
- ・次年度のこども家庭センターの設置について

予算常任委員会審査報告

委員長 山本 妙子

予算常任委員会は7月6日に委員会を開催し、『議第71号 令和5年度近江八幡市一般会計補正予算(第3号)』および『議第77号 令和5年度近江八幡市一般会計補正予算(第4号)』の2件について審査しました。

採決の結果、議第71号および議第77号ともに全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

なお審査過程における主な意見として、まず、議第71号において、「第三者機関である市特別職報酬等審議会の答申は尊重するものの、時期としてなぜ今なのか、意見を付して賛成とする」との討論がありました。

次に、議第77号において、「学校給食センターの建物の耐用年数は個別施設計画では31年間となっているにもかかわらず、先日、教育厚生常任委員会におい

ても、現場の状況を確認したが、建設から10年間でこのような状況になるとは考えにくいことから、しっかりと調停を進めていただき、子どもたちに安全安心な状態で給食が提供できるようにしていただきたい」として、賛成するとの討論がありました。

また、活発な意見が交わされる中で、コロナ対策や物価高騰に対する国や県・市の支援策の事後の検証方法として、ラインなどのアンケート機能を活用して実施することも有効ではないか、などの意見がありました。

総務常任委員会審査報告

委員長 沖 茂樹

総務常任委員会は、6月定例会で付託された諸案件を審査するため、7月7日に委員会を開き、当局に対し詳細な説明を求め、また、意見書については、提出議員に対し説明を求め、議

案質疑などを行い審査しました。
条例関連議案である、『議第72号近江八幡市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について』は、賛成多数で原案を可決すべきものと決しました。

また、『議第73号近江八幡市条例の一部を改正する条例の制定について』は、全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

次に、議員提出議案である、『会

第9号適格請求書保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める意見書の提出について』は、賛成少数で原案を否決すべきものと決しました。

なお、審査過程における主な意見として、議第72号について、『近江八幡市特別職報酬等審議会の答申を否定するものではないが、市民の理解を得るためにも今の時期における議員報酬の引き上げについては反対の立場であることから、本条例の改正については反対する』との意見がありました。

まず、条例議案について、『議第74号 近江八幡市学校給食費に関する条例の一部を改正する条例の制定について』は、賛成多数で原案を可決すべきものと決しました。

次に、その他議案について、『議第78号 調停の申立てをすることにつき議決を求めることについて』は、全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

最後に、意見書について、『会第10号「健康保険証の廃止」の撤回を求める意見書の提出につ

いて』は、可否同数により委員長採決において原案を否決すべきものと決しました。

なお、審査過程における主な意見として、議第74号について、『今回の改正案は、これまで給食費は条例に定められていたが、今回の改正で規則に定められることになる。給食費の改定の際には、これまで議会に諮られていたものが、議会の議論なしに、引き上げ、引下げが可能となる。市民の皆様に対して、どのような事情で給食費が改定されるのかを明らかにするという観点から、条例に定めておくべき』との反対意見がありました。

また、議第78号について、審査に先立ちまして、去る6月28日に、本委員会の所管事務調査として、学校給食センターの現地確認を行い、議案審査の参考といたしました。



教育厚生常任委員会審査報告

委員長 道下 直樹

教育厚生常任委員会は、6月定例会において付託された諸案件を審査するため、7月10日に委員会を開き、当局に対し詳細な説明を求め、議案質疑などを行いました。



産業建設常任委員会審査報告

委員長 南 祐輔

産業建設常任委員会は、6月定例会で付託された条例改正議案2件を審査するため、7月11日に委員会の開催を行い、当局に対し詳細な説明を求め、議案質疑等を行い審査しました。

『議第75号近江八幡市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について』は、都市計画決定された土田町地先の商業機能交流拠点地区計画の地区区分の追加と、建築物の制限を一部変更するための条例改正であります。審査の結果、全員賛成で原案を可決すべきものとなりました。

次に、『議第76号近江八幡市印鑑条例及び近江八幡市手数料条例の一部を改正する条例の制定について』は、令和5年5月11日から、マイナンバーカードの

電子証明書機能が移動端末設備（スマートフォン）に搭載できるようになったことから、多機能端末機による印鑑登録証明等の交付（コンビニでの交付）をスマートフォンを用いて行えるようにするための条例改正であります。審査の結果、全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。



令和4年度（令和4年4月～令和5年3月） 政務活動費収支報告

会派名	創政会 (8名)	政翔会 (3名)	日本共産党 (3名)	公明党 (1名)	新政会 (2名)	志誠会 (1名)	チームはちまん (1名)	ひむれクラブ (1名)	凜成会 (1名)
会派代表者	北川 誠次	辻 正隆	森原 陽子	山本 妙子	道下 直樹	西津 善樹	竹尾 耕児	山本 英夫	山元 聡子
経理責任者	南 祐輔	沖 茂樹	玉木 弘子	山本 妙子	道下 直樹	西津 善樹	竹尾 耕児	山本 英夫	山元 聡子
交付額	1,920,000	940,000	700,000	420,000	480,000	240,000	240,000	240,000	240,000
収入合計額①	1,920,007	940,003	700,001	420,002	480,001	240,000	240,000	240,000	240,000
調査研究費	628,138	109,176		9,697	159,688				
研修費									
広報費	604,939	199,312	668,937				160,000		240,000
広聴費									
要請・陳情活動費	246,790	20,240			33,467				
会議費									
資料作成費	13,200								
資料購入費					16,597			36,581	
人件費									
事務所費									
支出合計額②	1,493,067	328,728	668,937	9,697	209,752	0	160,000	36,581	240,000
返還額(①-②)	426,940	611,275	31,064	410,305	270,249	240,000	80,000	203,419	0

収入合計額 ①：交付額に預託利息等が発生した場合は、当該①に含めています。

返還額(①-②)：収入合計額①よりも支出合計額②が大きい場合は、返還額はありません。(差額は自己負担)

※各会派所属議員数は、年度内に会派異動による人数の増減が生じた会派についても、令和5年3月31日現在での人数を記載しています。そのため、所属人数が同数の会派でも会派異動の時期及び人数によって交付額は異なります。また、各会派の所属議員は、ホームページの市議会議員名簿に掲載しています。

政治倫理研修を開催しました

令和5年5月22日に同志社大学政策学部・大学院総合政策科学研究科の真山達志教授を講師として招き、政治倫理研修を開催しました。

この研修は、市議会議員政治倫理条例に基づき、改選に際し、政治倫理に関する理解を深め、議員の倫理意識の向上および確立を図ることを目的に開催しました。当日の「二元代表制を担う議員に求められるもの」と題した講演では、二元代表制のもと、議会の役割と議員に求められる政治倫理の基本から、これからの議会・議員はどうすべきか、などについてご教示をいただきました。研修後には、議員全員が条例遵守の宣誓を行い、議員一人ひとりが市民全体の代表者として、市民の倫理と良心の模範となり、市民の皆様に信頼され期待される議会となれるよう努力をしていくことを誓いました。



市議会議員紹介 Vol. 1

クローズアップ

市民のみなさんに市議会議員をより身近に感じていただきたいとの思いから、議席番号順に全議員をシリーズで紹介していきます。

ふくなが よしひろ 福永 義洋



- Q①近江八幡市のお気に入りスポットは？ 長命寺港からながめる琵琶湖
- Q②自己（あなた）のキャッチフレーズは？ 改革。そして成長。
- Q③議員になって何をしたいですか？ みんなが暮らしやすい街づくり
- Q④議員に必要なもの3つ？ エンパス性 正直者 ひとつつつこさ
- Q⑤あなたの熱い思いを一言？ 少しでも近江八幡市民の皆様のお役に立てるようがんばります。

まみや やすき 間宮 泰樹



- Q①近江八幡市のお気に入りスポットは？ 常の浜水辺公園
- Q②自己（あなた）のキャッチフレーズは？ 愛着と誇りをもてるまちづくり
- Q③議員になって何をしたいですか？ 地域に賑わいと笑顔があふれるまちづくりの実践
- Q④議員に必要なもの3つ？ 周囲への関心、学び、実行
- Q⑤あなたの熱い思いを一言？ 謙虚でござらず、向上心をもって市政にチャレンジ

くごう さだひこ 久郷 定彦



- Q①近江八幡市のお気に入りスポットは？ 水ヶ浜から映えるサンセット!
- Q②自己（あなた）のキャッチフレーズは？ 「やると決めたら、やり抜く」
- Q③議員になって何をしたいですか？ 誰もが住み続けたいと思う「まち」づくり
- Q④議員に必要なもの3つ？ 品位、尊重、規律
- Q⑤あなたの熱い思いを一言？ 至誠にして動かざる者は、未だ之れ有ざるなり
(精いっぱい誠意をもって尽くせば、動かなかった人など今まで誰もいない)



編集後記

議員定数が改正されて、22人の新たな顔ぶれがそろいました。

新議会による最初の定例会も終え、各議員の建設的な一般質問の内容から、議員の思いを届ける紙面づくりに努めていきます。開かれた議会を目指すうえで、今後におきましても皆様のご意見をお聞かせください。

(広報広聴委員長 辻 正隆)

<広報広聴委員会>

広報広聴委員会では、議会だより分科会と議会報告会分科会に分かれ、議会だよりの作成と議会報告会の企画運営等を行っています。

◎：委員長 ○：副委員長

◎辻 正隆	○竹尾 耕児	福永 義洋	間宮 泰樹
久郷 定彦	青木 勝治	藤村 健造	三上 英夫
山本 妙子	山元 聡子	玉木 弘子	山本 英夫

令和5年第1回(5月)近江八幡市議会臨時会・令和5年第2回(6月)近江八幡市議会定例会に提出された議案と議決結果

賛否の分かれた議案

議案番号	件名	付託委員会	会派 議決結果	創政会							政翔会			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
				間宮泰樹	藤村健造	三上英夫	道下直樹	南祐輔	大川恒彦	岡田彦士	小西はげむ	久郷定彦	沖茂樹	辻正隆	小川広司	松村勝治	青木理恵	中塚妙子	山本陽子	森原弘子	玉木義洋	福永耕児
5月市議会臨時会																						
◇ 人 事																						
議第69号	近江八幡市副市長の選任につき同意を求めることについて		否決	×	×	×	退	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×
6月市議会定例会																						
◇ 予 算																						
議第71号	令和5年度近江八幡市一般会計補正予算(第3号)(修正案)		否決	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×
	令和5年度近江八幡市一般会計補正予算(第3号)(原案)	予算	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
◇ 条 例																						
議第72号	近江八幡市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
議第74号	近江八幡市学校給食費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
◇ 議員提出議案																						
会第9号	適格請求書保存方式(インボイス制度)の延期・見直しを求める意見書の提出について	総務	否決	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×
会第10号	「健康保険証の廃止」の撤回を求める意見書の提出について	教育厚生	否決	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	○	×

①:育政会 ②:公明党 ③:日本共産党 ④:近江八幡維新の会 ⑤:チームはちまん ⑥:ひむれクラブ ⑦:凜成会
○…賛成 ×…反対 欠…欠席 退…退席 除…除斥 一…議長は採決に加わっていません。

全員一致で承認・可決・同意・採択した議案

議案番号	件名	付託委員会
5月市議会臨時会		
◇ 予 算		
議第64号	専決処分承認を求めることについて 令和4年度近江八幡市一般会計補正予算(第10号)	予算
議第66号	専決処分承認を求めることについて 令和5年度近江八幡市一般会計補正予算(第1号)	予算
議第67号	令和5年度近江八幡市一般会計補正予算(第2号)	予算
◇ 条 例		
議第65号	専決処分承認を求めることについて (1)近江八幡市税条例の一部を改正する条例の制定について (2)近江八幡市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について (3)近江八幡市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	総務
◇ 人 事		
議第68号	近江八幡市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	省略
議第70号	近江八幡市監査委員の選任につき同意を求めることについて	省略
6月市議会定例会		
◇ 予 算		
議第77号	令和5年度近江八幡市一般会計補正予算(第4号)	予算
◇ 条 例		
議第73号	近江八幡市税条例等の一部を改正する条例の制定について	総務
議第75号	近江八幡市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設
議第76号	近江八幡市印鑑条例及び近江八幡市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設
◇ そ の 他		
議第78号	調停の申立てをすることにつき議決を求めることについて	教育厚生
◇ 人 事		
議第79号	近江八幡市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
◇ 議員提出議案		
会第8号	近江八幡市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	省略

付託委員会欄の「予算」は予算常任委員会、「総務」は総務常任委員会、「教育厚生」は教育厚生常任委員会、「産業建設」は産業建設常任委員会です。

9月定例会のご案内 令和5年第3回(9月)市議会定例会は、次のような日程で予定しています。それ以外の日は、休会の予定です。

開会日	質問日	委員会	閉会日
8月29日(火)	9月7日(木)、8日(金) 11日(月)	9月11日(月)、12日(火)、13日(水)、 14日(木)、15日(金)、19日(火)	9月21日(木)

皆さまからの議会運営に関するご意見を、メールまたは文書にて、議会事務局までお寄せください。

〒523-8501 近江八幡市桜宮町236番地 Eメール: 020200@city.omihachiman.lg.jp FAX: 0748-36-7101



●インキ:環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
●印刷:有害な廃液を排出しない水なし印刷